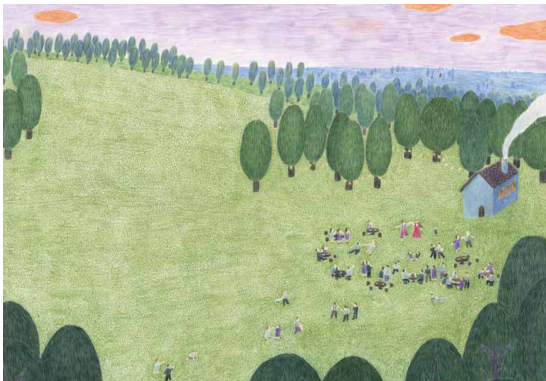


わたしはスカート

まよなかのふみ



STORY

まっかなスカートちゃんは、「おねいさん」といつでも一緒でしたが、「おねいさん」が大きくなると、ダンスにしまわれました。ある日、「おねいさん」は、ほかの洋服とともにスカートちゃんを取り出すと、ほかの洋服を大きなハサミで切り始めました。スカートちゃんは、洗われ、外につるされたので、強い風とともに逃げ出しました。そして、男の子のスカートになったり、闘牛士のマントになったり、ばあちゃんのスカーフになったりしました。



まよなかのふみ

デザイナー 神奈川県

受賞のことば

このたびの賞は、迷いながらも進んだ先に現われた小さなちばん星です。これからも言葉になることのないささやくような音に耳をすませながら、そんな小さな光をひとつずつ増やしていきたいです。

審査員コメント

色鉛筆で描かれた絵であろうか。なんと清々しい色彩。とくに闘牛のシーンと大きな堂々とした牛の絵は秀逸である。赤いスカートがそれぞれの場面で違う使われ方をしていく。たとえ文章がなくても、その場面における物語性を感じることができる絵本である。

高島 純